

4. 4. 3 ネットワーク回線速度の考え方	40
4. 4. 4 既存の市町村ネットワークとの接続について	42
4. 5 構築作業及び運用保守について	43
4. 6 その他の見積もり項目【参考】	45
5 インターフェース仕様	46
5. 1 データ構造	48
5. 1. 1 ヘッダレコード	48
5. 1. 2 データレコード	48
5. 1. 3 トレイラレコード	48
5. 2 データ授受周期	49
5. 3 資格管理業務インターフェース一覧	50
5. 3. 1 資格業務（市町村→広域連合）	50
5. 3. 2 資格業務（広域連合→市町村）	51
5. 3. 3 項目説明	52
5. 4 税課業務インターフェース一覧	61
5. 4. 1 税課業務（市町村→広域連合）	61
5. 4. 2 税課業務（広域連合→市町村）	62
5. 4. 3 項目説明	62
5. 5 収納業務インターフェース一覧	66
5. 5. 1 収納業務情報（市町村→広域連合）	66
5. 5. 2 項目説明	67
5. 6 給付業務インターフェース一覧	70
5. 6. 1 給付業務（参考：審査支払機関→広域連合）	70
5. 6. 2 給付業務（市町村→広域連合）	70
5. 6. 3 給付業務（広域連合→市町村）	70
5. 6. 4 項目説明	70
5. 7 保健事業等業務インターフェース一覧	72
6 導入スケジュール	73

1 本書の位置付け

1. 1 本書の用途について

本書は標準システムとして配布される予定の「後期高齢者医療制度に係る広域連合電算処理システム（以下「標準システム」という）」を利用するため、広域連合および市町村（特別区を含む。以下同じ）（広域連合及び市町村で個別に調達する端末やカスタマイズ等を目的とした追加機器等は除く）で準備するシステム稼働環境整備及び既存のシステム改修にあたっての概算見積額を把握するために、現在想定される範囲でのシステム概要を記載しています。

後期高齢者医療制度の業務運用仕様については、今後制度の検討により確定されていくところであり、標準システムについてもこれを受けて仕様が確定されることになるため、既存システム改修や機器調達にあたっての詳細仕様については、本書に記載されている仕様を含めて今後変更となる可能性があります。

1. 2 本書を使用するにあたってのお願い

本書に記載されている業務仕様ならびに標準構成の考え方については、費用見積もりを算出するための前提条件として想定にて記載しており、標準システムの仕様を確定するものではありません。このため、本書記載の内容について、技術的な実現性および標準システム機能の詳細についての質問事項などについては、現時点では明確なお答えができない場合があることを承知の上、ご利用ください。